

原料費調整（スライド）制度に基づく2025年6月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。ご確認ください。

敬具

記

- 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2025年6月検針分に適用される従量料金単価を、基準料金に対し、1 m³あたり－1円15銭（税込）調整させていただきます。
- 標準家庭（1か月のご使用量が21 m³）の場合、ガス料金は月額6,916円（税込）となり、5月適用分のガス料金に対し、470円（7.29%）お支払額が増加します。
- 2025年6月の料金改定により、基準平均原料価格が変更となりました。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m³あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2025年1月～2025年3月のLNG、プロパンの平均原料価格を2025年1月～2月の貿易統計確報値、2025年3月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は95,820円／t となります。料金改定にて算定した基準平均原料価格（算定期間2024年11月～2025年1月）に比べ、今回の調整額の算定基準となる2025年1月～2025年3月の実績平均原料価格は、トンあたり1,350円下降することとなりますので、料金調整は上記のとおりとなります。

●2025 年 6 月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

基準単価に対して、-1.15 円の調整となります。

料金表	1 か月の 使用量	基本料金 (円/月)	従量料金単価 (円/ m ³)		
			6 月以降 基準単価	6 月適用単価	調整額
A	0 m ³ から 10 m ³ まで	1,215.61	297.70	296.55	-1.15
B	10 m ³ を超え 170 m ³ まで	1,694.11	249.85	248.70	-1.15
C	170 m ³ を超え 500 m ³ まで	10,576.83	197.60	196.45	-1.15
D	500 m ³ を超える	12,721.83	193.31	192.16	-1.15

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

●2025 年 6 月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1 か月のご使用量が 21 m³）の場合

2025 年 6 月適用料金 (a)	2025 年 5 月適用料金 (b)	増減 (c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,916 円	6,446 円	+470 円	+7.29%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む 1 か月の料金です。
2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの 2016 年～2020 年の月平均使用量です。

●平均原料価格 (円/ t) および従量料金単価調整額 (円/ m³)

	2025.1～2025.3	基準平均原料価格
LNG 平均輸入価格(貿易統計値)	95,620	97,030
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	96,480	95,050
平均原料価格(LNG 換算)	95,820	97,170

■2025 年 1 月～2025 年 3 月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG 平均輸入価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0231 \\
 &= 95,620 \text{ 円/t} \times 0.9788 + 96,480 \text{ 円/t} \times 0.0231 \\
 &= 95,821.544 \text{ 円/t (10 円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{\underline{95,820 \text{ 円/t}}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 95,820 \text{ 円/t} - 97,170 \text{ 円/t} \\
 &= -1,350 \text{ 円/t (100 円未満切捨て)} \\
 &= \underline{\underline{-1,300 \text{ 円/t}}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1 m³あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \{ \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times (1 + \text{消費税率}) \} \\
 &= \{ -1,300 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times 1.10 \} \\
 &= -1.144 \\
 &= \underline{\underline{-1.15 \text{ 円/m}^3}}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額 100 円につき従量料金単価を 0.088 (0.080×1.1) 円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第 3 位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第 3 位以下を切上げます。

以上